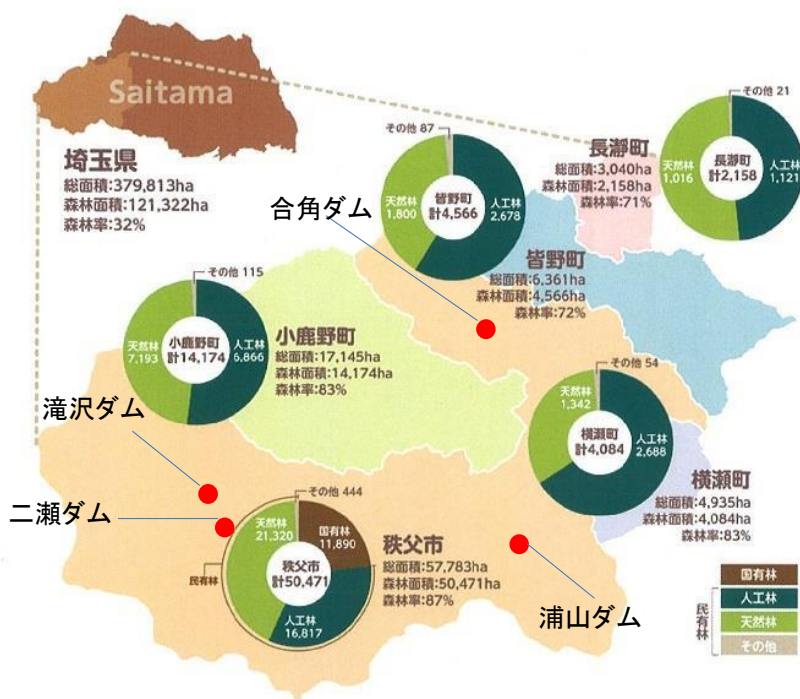


荒川上下流域の連携による森林づくり ～森林環境譲与税活用のご提案～

秩父地域森林林業活性化協議会 (秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町)



秩父地域の森林・林業



秩父地域の森林面積は約7.5万ヘクタールで、荒川流域面積29.4万haの約26%と、荒川流域において最も大きな割合を占めています。

この広大な「緑のダム」と4つのダムが荒川流域の生活や安全を支えています。



秩父地域は標高120m(長瀬町矢那瀬)から2,483m(奥秩父三宝山)までと標高差が非常に大きく、里山の雑木林から奥地の原生林まで多様な森林で構成されています。戦後初期までの林業では薪炭生産が大きな割合を占めていましたが、木材需要の増大や燃料革命の進展によってスギ・ヒノキの造林が進みました。民有林の人工林率は47%、うち75%以上が利用可能な46年生以上の森林です。また、しいたけ類きのこ類の生産や、産学官が連携してカエデ、キハダを活用した商品開発を支援し、秩父地域の資源を活かした森林産業の振興を図っています。

荒川流域の概要

●荒川流域地形分類図



項目	データ
水源	甲武信ヶ岳 (標高2,475m)
流域面積	2,940km ² (=29万4千ha)
幹川流路延長	173.0km
流域内人口	930万人(※1)
流域内人口密度	3,100人/km ² (※1)
浸水想定区域内人口	540万人(※1)
水道用水供給人口	約1,500万人(※2)

出典 国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所HPより抜粋
 ※1 河川現況調査 平成14年3月(基準年 平成7年度)
 ※2 国土交通省資料

3

荒川水系流域治水プロジェクト①



なぜ今、流域治水？

近年、毎年のように全国で大型の台風や豪雨による水害が発生しています。なぜ、水害が頻発しているのでしょうか？

集中豪雨の頻度が増加しているから

1時間雨量が50mm以上という短時間強雨が、過去30年で約1.4倍に増えてます。これは、気候変動による影響と言われています。



気候変動による影響について詳しく知りたい方はこちら

気候変動の影響について

流域治水って？ポイント①

河川に流れ込む雨水の量を少しでも減らすために、河川の氾濫が起きてしまっても、被害を最小限にするために、流域治水が必要です。

これまで...



流域に関わるあらゆる関係者が協働して治水対策を行うこと(詳しくはP3、P4)

保水力が低下しているから

森林減少や都市化の進行で、降った雨が一気に河川に流れ込むため、氾濫が起こりやすくなっています。



これからは...



流域に関わるあらゆる関係者が協働して治水対策を行うこと(詳しくはP3、P4)



毎年のように大型の台風や豪雨が発生し、全国各地で甚大な水害が発生しています。今後、こうした状況はさらに激化する可能性があり、これまでの治水対策だけでは防ぎ切れないことも懸念されています。それでは、これからの治水対策はどうしたらいいと思いますか？その答えは、まち全体で、河川の流域全体で、みんなで水災害対策に取り組む「流域治水」にあります。これからの治水対策のキーワード「流域治水」について、いっしょに学んでいきましょう。

流域治水って？ポイント②

集水域から氾濫域までを一つの流域と捉え、流域全体で水害を軽減させる考え方

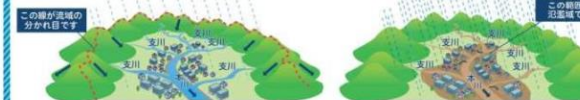


河川だけではなく、集水域や氾濫域も含めた流域全体で対策するんだね！

集水域、氾濫域とは？

●降った雨がその河川に流れ込んでいる全範囲を集水域(流域)といいます。

●洪水が起きたときに、河川から水があふれて浸水してしまう範囲を氾濫域といいます。



木材利用の意義



林業は、「植えて」「育てて」「伐って、使って」というサイクルで成り立っています。木を使うことで林業が活性化され、水源かん養や洪水防止など森林の役割発揮により、結果的に流域全体の生活、産業や安全を支えることにつながります。

➡ 流域内の木材利用が最も効果的

7

荒川下流域の皆様への 6つの提案

森林を活かす

- ①公共施設等での木材利用
- ②木育の推進
- ③木製品の活用(HP森のおくりもの)



森林に学び・親しむ

- ④秩父地域での林業・木工体験



森林を守り・育てる

- ⑤自治体連携の森林づくり
- ⑥秩父地域での森林整備への支援



8

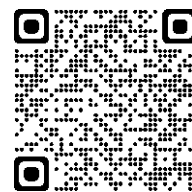
①公共施設等での木材利用

●提案の内容●

健全な森(人工林)は、「植えて、育てる」「収穫する」「適材適所で使う」のサイクルが重要です。木材を都市部で使用することは、成長の過程で吸収した二酸化炭素を固定し、地球温暖化防止に貢献します。

秩父産木材については、秩父木材協同組合等と連携し、必要な木材の調達・確保ができます。また、秩父地域には一定の品質が確保されたJAS規格(日本農林規格)の認定工場があるほか、様々なニーズに応えることができます。

公共施設で木材利用を進める際の参考となるホームページを作成しています。ぜひ一度ご覧ください。



<https://chichibu-mokuzai.com/>



9

秩父産木材利用施設の事例紹介

森林を活かす

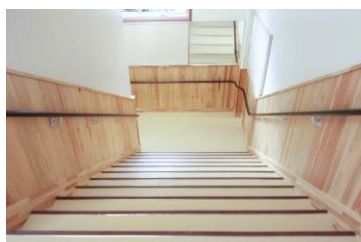
【秩父市役所及び市民会館】

- ・市役所本庁舎には、各階の腰壁、議場の内装材のほか、エントランス天井オブジェ、家具などにも秩父産材が多用されている。
- ・竣工 平成28年



【秩父市内中学校】

- ・校舎の改修工事の際に、腰壁、建具、ロッカー等を木質化(令和元年度実施)
- ・竣工 令和元年度



【秩父斎場】

- ・開放感のある待合ホール、待合室、こもれびホールなどにはふんだんに秩父産材が使用され、施設全体が木の香りに包まれている。
- ・竣工 平成28年度



10

②木育の推進(ウッドスタート)

●提案の内容●

ウッドスタートとは、東京おもちゃ美術館が展開している「木育」のプランです。
この活動は「木を真ん中に置いた子育て／子育て環境を整備し、すべての子供たちが人生最初のステージを、木の温もりを感じながら楽しく豊かに送ることができるようにしていく」仕組みを意味します。

生まれた赤ちゃんへの秩父産木材を使用し秩父の木工職人が製作した玩具の誕生祝品としてのプレゼントや、子育て環境に秩父産木材をふんだんに取り入れる空間木質化などを東京おもちゃ美術館と協力し提案します。

第1回秩父市誕生祝い品
「TUMICCO」



第2回秩父市誕生祝い品
「ちちぶの幸」

第3回秩父市誕生祝い品
「木守りのうち」



小鹿野町誕生祝い品
「おがのダリアブロック」

木育事例紹介①

秩父市では生涯木育を掲げて積極的に取り組んでいます。切れ目のない木育を推進していくため、平成27年度から実施しているウッドスタート事業に加え、令和3年度からは小学生新入学児童へ杉出しホープ(秩父産の木の引き出し)を配布しています。壊れにくいように年々改良を重ねています。

※ウッドデザイン賞2019入賞



令和3年4月9日 入学式後に配布。



配布した杉出しホープ(R3版)

木育おもちゃセットを製作し、研修を修了した各団体等へ貸出しイベント等で活用いただくことで木育を推進する取り組みを令和4年度から開始しました。

令和4年度は77種類のおもちゃセットの製作と木育リーダー・ボランティア研修を実施し、貸出を開始しました。

木育リーダー研修を受講された方であれば、秩父市外でも貸出が可能です。



詳細はこちら(秩父市HP)



木育ボランティア研修の様子(R5.2)



木育ひろば(R5.3)

13

森林を
活かす

③秩父産木工品の活用(HP森のおくりもの)

●提案の内容●

都市部自治体向けのHP「森のおくりもの」を開設し、秩父産木製品のPRを行うとともに、秩父産木材由来の木工製品等の窓口を(一財)秩父地域地場産業センターに一元化し、自治体等からの問い合わせ等に対応する取組を行っています。

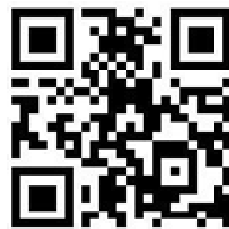
ウッドスタート(誕生祝品)から、地元産の木で終末を迎えるウッドエンド(国産柵)までライフスタイルに合わせた木製品を提案します。詳しくはHP「森のおくりもの」をご覧ください。



自在イス



乗り物のおもちゃ



<https://chichibu-mokuzai.jp/>



ウッドデザイン賞2020入賞ちぶまゆ



国産柵



アドベンチ

14

④秩父地域での林業・木工体験

●提案の内容●

秩父地域は、都内や埼玉県内から車で2時間ほどの距離にあります。

学校行事や市民参加行事として秩父地域にお越しいただき、各種林業体験、木工体験、自然の中でのフィールドワークなどをお楽しみください。

また、秩父地域は自然、歴史、祭りなど見どころがたくさんあります。

(一社)秩父地域おもてなし観光公社との提携で観光や宿泊と合わせて 秩父地域をご堪能いただくプランを提案することが可能です。

行程例:	
1日目	各市区町村→秩父地域(間伐体験や木工体験、フィールドワーク)→秩父地域泊
2日目	宿泊地→観光(そば打ちや長瀬ライン下り、ジオグラビティパーク、フォレストアドベンチャーなど)→各市区町村



15

事例紹介

森林に学び親しむ

秩父市では令和3年度から、小学校の総合学習の時間を活用した森林環境教育の取組を行っています。令和4年度は1校、4・5年生を対象に、4年生は「森を知ろう」、5年生は「林業を知ろう」と題して実施しました。事前学習、現地見学、最後は新聞づくりでとりまとめを行いました。



4年生は市内大滝栃本で森林を歩きながら葉っぱやキノコ等を収集。



5年生は森林組合による伐倒の様子や製材工場等を見学

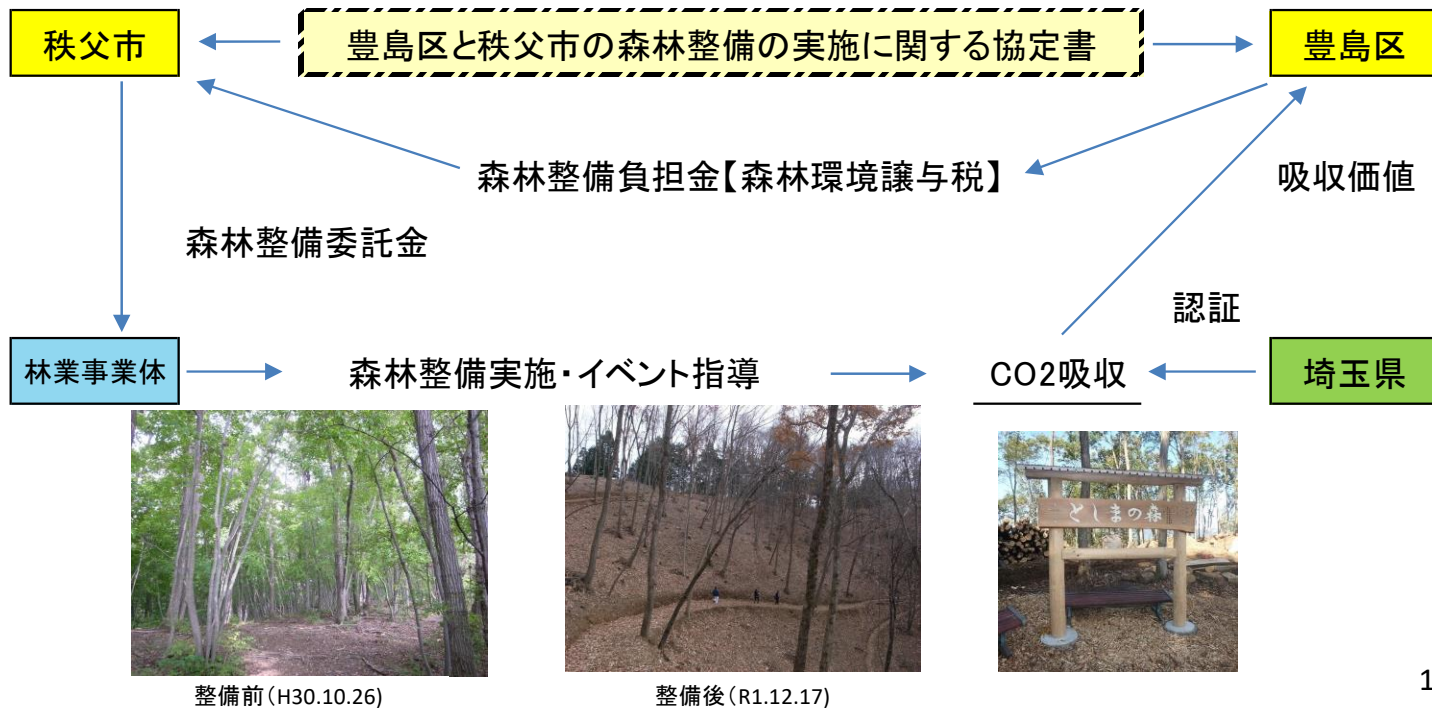
16

⑤自治体連携の森づくり(事例:としまの森)

●提案の内容●

上下流域の自治体が連携して行う森林整備のご提案です。
その事例として、秩父市と姉妹都市の豊島区が「としまの森」を整備し、CO₂排出量の削減(森林吸収によるカーボン・オフセット)、区民の環境教育の推進を行っています。

としまの森・秩父のスキーム



17

としまの森 整備状況

森林を守り育てる

	整備面積	整備内容
R元	0.50 ha	看板設置、大径木処理、遊歩道整備、刈払 等
R2	0.35 ha	大径木処理、遊歩道整備、刈払 等
R3	0.35 ha	大径木処理、遊歩道整備、刈払、植栽 等
R4	0.35ha	大径木処理、遊歩道整備、刈払、植栽 等
計	1.55 ha	

※R5は0.35haの整備を予定



R4年10月、豊島区主催の環境交流ツアー



整備前 (R3.4)



整備後 (R4.1)

⑥秩父地域での森林整備への支援

●提案の内容●

秩父地域では秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町の1市4町が連携し、荒川源流の地域として、森林経営管理制度へ積極的に取り組み、集約化による森林整備を進めています。

また、令和3年度は集約化の難しい森林の間伐等について補助事業として取り組みを始め、令和4年度は人的体制を強化し、自伐型林業推進の取組も開始しました。

これらの取組へ支援いただくことにより、水源のかん養や地球温暖化防止等森林の公的機能の更なる発揮に貢献いただけます。



横瀬町集積計画1号地での搬出間伐



長瀬町集積計画1号地での切捨間伐

19

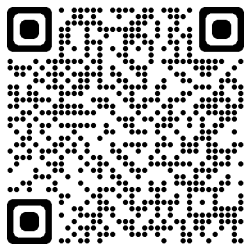
(まずはここからどうでしょう?) イベント出展

秩父地域森林林業活性化協議会や秩父市森づくり課では、各種イベント出展を通じた森林林業の普及啓発等を行っています。
各自治体が主催する区民祭りや緑化・環境等のイベントがありましたらぜひご依頼ください。

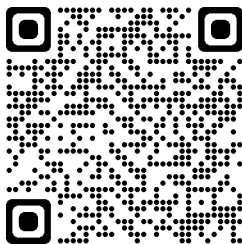


※R4 さいたま市南区ふるさとふれあいフェア(会場:浦和競馬場)
さいたま市農業環境課と共同出展。
丸太切り体験や木工ワークショップを開催。

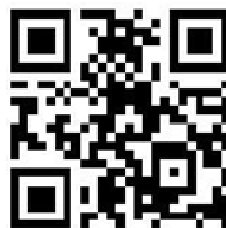
20



○森の活人ホームページ
(秩父の森林の総合サイト)
<https://morinokatsujin.com/>



○秩父木材協同組合
(公共施設への木材利用)
<https://chichibu-mokuzai.com/>



○森のおくりもの
(木工製品)
<https://chichibu-mokuzai.jp/>

○お問い合わせ先
秩父地域森林林業活性化協議会事務局
(秩父市森づくり課)
電話: 0494-22-2369
メール: mori@city.chichibu.lg.jp

